

# ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.119

2021  
11.1



コスモスロードの美化に取り組む第三中学校生徒



東根市議会

検索



# 東根市のこんなことが決まりました

この中から3項目を **ピックアップ!**

●会期 8月31日～9月17日

項目	件数	概要
令和2年度決算認定	9	・一般会計 ・特別会計(国民健康保険、東根財産区、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療) ・公営企業会計(水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業)
条例関連	4	・東根市立保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について <b>ポイント1</b> ほか
令和3年度補正予算	7	・一般会計 <b>ポイント2</b> ・特別会計(国民健康保険、東根財産区、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療)
人事案件	2	・人権擁護委員候補者の推薦 ・東根市監査委員の選任
請願審査	2	・新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願 ・米の需給調整に関する請願 <b>※詳細は16ページをご覧ください。</b>
委員会議	3	・新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書の提出について ・米の需給調整に関する意見書の提出について ・コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について <b>ポイント3</b>

※詳細は、ホームページで確認できます。

**ポイント1**



**令和4年度に「東根市立ひがしねこども園」が開設されます**

議第68号

東根市立保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和4年度から、児童センターの老朽化や多様な子育て需要に対応することを目的に、「東根市立ひがしねこども園」が開設されることに伴う条例の改正であり、全会一致で可決しました。

**こんな質疑がありました**

**議員** 名称は決定か。

**子育て健康課長** これまで「(仮称)東根こども園」と表記してきたが、「東根市立ひがしねこども園」が正式名称となる。

**議員** 現在の東根、本郷の両児童センターに入所している児童は、新設されるひがしねこども園に全員入所できるのか。

また、医療的なケアを必要とする児童の受入れも行うことから、入所説明会などの予定は。

**子育て健康課長** 東根、本郷の両児童センターの今年度卒園予定を除く利用者全員に事前にアンケート調査を実施した。こども園への入所希望者は優先する考えである。

入所説明会はコロナ禍でもあるため、開催を見送った。その代わりに窓口にパンフレットを置き、個別対応で説明をしていく。



ポイント2



緊急経済対策等に関する  
補正予算が決まりました

議第78号 令和3年度東根市一般会計補正予算(第8号)

プレミアムクーポン事業や旅館業等支援事業(あと宿キャン  
ペーン第2弾)等の緊急経済対策のほか必要な事業を実施  
するため、一般会計に1億530万円を追加し、228億6千  
409万4千円とするもので、全会一致で可決しました。

こんな質疑がありました

議員 プレミアムクーポ  
ン事業の詳細は。

経済部長 市内在住者等を  
対象に、市内飲食店で利用で  
きる5千円分のクーポンを  
3千円で販売するもの。

電子クーポンと商品券  
カードのどちらかを選択の  
うえ、一人3セットまで購入  
可能とする予定。今後、事業  
の詳細については実行委員  
会で検討していく。

議員 これまでの経済対  
策では精算手続が煩雑で現  
金化に時間がかかったが。

経済部長 QRコードを読  
み込むことでその場で決済  
が行われるため、事業者によ  
る精算業務は不要となる。

支払日は月3回程度を想  
定する。

議員 あと宿キャンペー  
ン第2弾について、第1弾と  
の違いは。

経済部長 販売期間を3か  
月間へと倍に延長する予定。

議員 例年、繁忙期とな  
る年末年始において、客足  
が伸びないのではないかと  
いう不安の声があるため、  
事業の効果に期待する。

ポイント3



国会及び政府関係機関へ  
意見書を提出します

発議第8号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税  
財源の充実を求める意見書の提出について

全国市議会議長会定期総会における決議として決定した意  
見書の提出について、各市議会議長あてに依頼があったもの  
で、全会一致で可決しました。

発議内容

地方自治体では医療や介  
護、子育てを始めとする社会  
保障関係経費や公共施設の  
老朽化対策などに要する財  
源確保が課題となっている。

さらに、新型コロナウイルス  
の蔓延に伴う感染防止対  
策や経済対策へ多額の予算  
が必要となり、来年度におい  
ても厳しい財政運営が予想  
される。

また、近年は多発する自  
然災害に伴う防災・減災対  
策や地球温暖化対策などの  
新たな予算も必要になって  
いる。これらの状況から、全

国市議会議長会の定期総会  
において「地方税の充実確  
保」「令和4年度一般財源総  
額の確保」「地球温暖化対策  
への対応」を盛り込んだ決議  
がなされた。

慎重に議論を重ねた結  
果、全会一致で「意見書の  
提出は必要」との結論に達  
した。



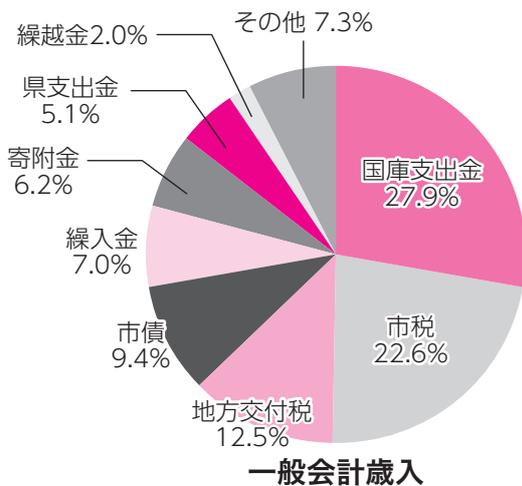
# 令和2年度決算を認定！

## 東根市のお金の使い方をチェックしました

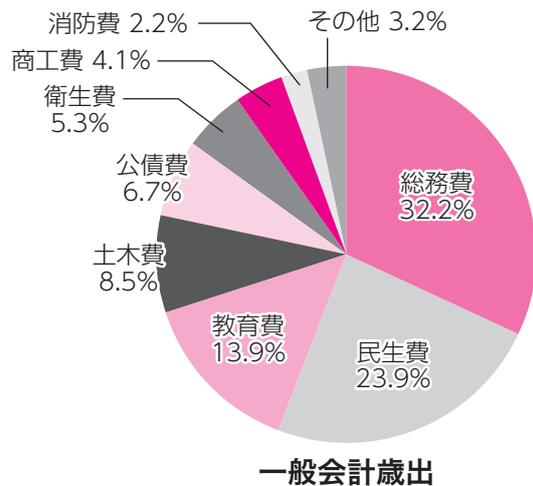
東根市のお金がどのように使われたのか、決算特別委員会で慎重に審議しました。  
9月7日は全体会、8日と9日には3つの分科会で、より詳細に審査しました。

### 一般会計の歳入

**294億8,757万1,350円**



一般会計歳入



一般会計歳出

### 特別会計の歳出総額

**91億4,647万8,014円**

会計名	歳入決算(円)	歳出決算(円)
国民健康保険	4,591,574,979	4,442,851,642
東根財産区	2,028,670	539,341
介護保険	4,355,112,399	4,155,070,619
市営墓地	5,258,972	1,292,115
後期高齢者医療	562,049,531	546,724,297

### 公営企業会計

会計名・区分		収入(円)	支出(円)
水道事業	収益的収支	1,208,313,220	995,869,084
	資本的収支	43,432,505	565,460,032
工業用水道事業	収益的収支	225,136,046	174,713,817
	資本的収支	0	18,123,012
公共下水道事業	収益的収支	1,504,524,068	1,454,407,430
	資本的収支	953,992,950	1,217,255,281

## 広報広聴事業

決算額:1,884万5,657円



運用開始当時は、先進的な広報手段であった「ふるさとメールマガジン」は、活用から15年以上が経過した。

市公式LINEアカウントの運用が開始されたため費用対効果を検証し、LINEによる情報発信の機能強化も含め、時代にあった効果的な広報・広聴について検討を要望した。

## 小学校ICT教育推進事業

決算額:1億1,897万3,784円

## 中学校ICT教育推進事業

決算額:6,744万5,722円



国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に児童・生徒1人1台の端末、大容量高速通信ネットワーク整備が完了し、授業での活用が開始された。

今後は、使用するコンテンツの充実や教職員の知識習得、家庭学習での活用に注力し、更なる学習力向上に繋げることを要望した。

## 小学校仮設校舎リース事業

決算額:370万1,350円

## 中学校仮設校舎リース事業

決算額:362万6,986円



教室不足を補うための仮設校舎は、神町中学校が9年目を迎え校舎の増築が決まった。

東根中部小学校は15年目を迎えたが仮設校舎解消の目途が立っておらず、人口動態や児童数の推移等を見極め、具体的な計画を作成し、より安全・安心な環境とするため、仮設校舎の早期解消を要望した。

## 体育施設等運営管理事業

決算額:8,780万3,518円



指定管理者による管理運営が行われている施設のうち、コロナ禍での利用制限を考慮しても、中央運動公園野球場の利用件数が他の施設に比べて少なかった。

施設のPR強化や的確な利用者ニーズの把握に努め、多目的な利用の可能性を研究することなど、更なる利用促進を図るよう要望した。

### 市道除排雪事業

決算額:6億5,220万482円

### 農道除雪事業

決算額:2,438万1,487円



近年にない豪雪で、一斉除雪回数は19回と例年の約2倍となった。雪押し場の確保と合わせ、今後とも業者と市民の協力のもと円滑な除排雪事業の取り組みを要望した。

農道の除雪で樹園地の交通を確保し、ハウスの倒壊防止や枝折れ防止、早期剪定作業等による営農活動の推進が図られた。

### 農産物海外販路拡大推進事業

決算額:300万円



コロナ禍の影響で、渡航はできなかったが、現地エージェントやアンバサダーなど国内外の関係機関協力のもと、タイとシンガポールにおいて東根産フルーツのプロモーションが行われた。海外への販路拡大と合わせてコロナ収束後のインバウンド観光にもつながるものであり、引き続き事業の推進を要望した。

### 水道事業会計

収益的支出決算額:9億9,586万9,084円

資本的支出決算額:5億6,546万32円



事業収益11億614万3,623円、当年度純利益1億973万8,780円となり、これまで同様、高い収益性を維持している。建設改良費は前年度に比べ2倍以上増加しているが、老朽管の敷設替工事を重点的に実施したためである。

有収率向上に向けた継続的な漏水調査と、安定供給に向けた計画的な設備等の更新に努めるよう要望した。

### 高生産性農業構造確立推進対策事業

決算額:326万1,670円

### 遊休農地解消対策事業

決算額:171万8,000円



令和元年度までは、農地の貸し手と借り手に推進費を交付していたが、令和2年度からは借り手のみに交付される事業に見直された。

今後とも農地の集積を通じた農業の担い手の育成、耕作放棄地の未然防止・解消に努めるよう要望した。

**安全安心なまちづくり事業**

決算額:374万5,211円



犯罪のない明るいまちづくりの推進を目的として、公衆街路灯等の整備を行う事業で、令和2年度は新たに、さくらんぼ東根駅前大通りに街頭防犯カメラ1基の設置を行った。

犯罪を未然に防ぐためにも、積極的な防犯カメラ設置の取り組みを要望した。

**さくらんぼtantokulセンター  
維持管理事業**

決算額:7,548万4,084円

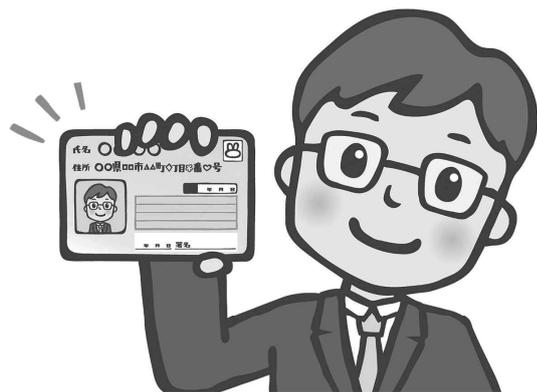


令和2年度の光熱費は2,108万8,788円であったが、コロナ禍において施設利用の制限を行ったため例年よりも光熱費は下がった。

既に省エネ効果を図るために一部遮熱シートを貼付けているが、ガラス面の多い建物のため、更に冷暖房の効果を上げ光熱費の削減が出来るように、ガラスコーティングなどの加工等について提案した。

**住民基本台帳ネットワーク事業**

決算額:3,122万6,106円



令和4年度までに、マイナンバーカード交付率100%という国が掲げる目標に対し、令和3年7月末時点の本市の交付率は32%となっている。令和2年度の取り組みは、担当職員の増員、申請端末の追加設置等であるが、交付率向上を目指した取り組みを続けるよう要望した。

**高齢者世帯等雪下ろし支援事業**

決算額:197万8,532円



雪下ろしを自力で行うことが困難な高齢者世帯等に、経費の5分の4を補助するもので、上限額は2万4,000円となっている。

昨シーズンは豪雪により雪下ろし作業の回数が多かったことから、経済的な負担が大きいため、補助額の拡充を要望した。

※現在は要望を踏まえ制度の内容が見直されました。

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## 社会的弱者への取り組み

### ●こども食堂や高齢者支援について

#### 安全確保は学校設置者の義務

### ●通学路の安全対策について



山科 幸子 議員

#### 東根市にないこども食堂

**議員** 子どもの貧困対策はもとより高齢者支援や地域コミュニティにもつながる、こども食堂や地域食堂の取り組みはどうか。

**市長** 家庭や学校で困難を抱える子供や保護者は、経済面や人間関係など様々な問題もあつたりする。全国的に広がっているこども食堂だが、本市では開設していない。親・こども・地域のつながりは大きな効果があり、居場所づくりを含め関係団体と協議し検討していく。



▲新庄市「みんなの広場・つばさ」  
写真提供：福祉サポートセンター山形

#### コロナ禍の高齢者支援

**議員** 厚労省調査では、令和2年度は前年度対比で「外出機会」20%減、「認知症・うつ」5%増とある。うつらない・うつさないを意識しながら、コロナ禍を生きる高齢者に対する取り組みはどうか。

**市長** 社協による電話の安否確認や保健師の戸別訪問を実施し、今後は感染状況を極めて介護予防事業等を再開したい。

**議員** コロナ禍での在宅者支援は薄い。家族介護者のゴミ出しは課題だ。まずはゴミ袋支給を要望する。

#### 通学路の点検と安全確保

**議員** 通学路安全点検プログラムによる、今年度の取り組み状況はどうか。

**教育長** 各学校から報告があつた危険な通学路7路線は、7月に関係機関で通学



▲体を張って見守る神町パトロール隊員

路合同点検を実施した。

**議員** 学校報告による危険7路線の点検の詳細は。

**教育次長** 通学路安全対策協議会の教育委員会、生活環境課、建設課、村山警察署、点検申出学校の8名で、登下校の防犯面を含め点検を行った。東根小・東郷小・高崎小・小田島小・東根中部小各学区1路線、大富小学区2路線である。

**議員** 文科省通知は、保護者や地域住民から改善要望のあつた危険箇所をPTAの協力、警察の助言で対策案を作成するよう求めている。保護者や地域の声を反映し、神町地区で要望のある歩道や横断歩道設置など早急に対処すべきだ。

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

## ●ごみの不法投棄問題と 本市の林業の現状について



東海林克彦 議員

本市における不法投棄の  
認知箇所数と現状回復数は

議員 県では平成22年  
から令和2年度まで212ヶ  
所の不法投棄（30平方メ  
ートル以上）が確認されて  
いるが、本市の現状は。また  
その処分はどうか。

市長 平成29年の林道終  
点での一ヶ所のみで、原状  
回復完了となっている。通  
報の傾向では農地への投棄  
が多い。なお、不法投棄の  
処分は原則土地の所有者に  
お願いしている。

議員 村山地区不法投棄  
防止対策協議会における原  
状回復事業とは。

市民生活部長 県が事務局  
となつて廃棄物の不法投棄  
防止対策を行うもので、住  
民が主体となる原状回復作  
業を行う場合に協同して回  
収作業を行う。また、回収  
ゴミの処分も行っている。  
議員 住民が自らゴミの  
処分を行う場合の支援制度  
はないのか。  
市民生活部長 現在はない

が、住民による回復が困難  
な場合は対策協議会対応を  
検討したい。



▲不法投棄現場

本市の林業の現状について  
人工林面積や林業生産額は

議員 人工林面積や生産  
額はどのような状況か。ま  
た森林環境譲与税の活用法  
と「やまがたモリノミクス」  
の取り組みは。

市長 人工林の面積は  
30.288平方キロメートル  
で森林の22パーセントとな  
っている。生産額は平成20  
年度に1億円だったが、昨  
今は5千万円となっている。

森林環境譲与税は森林経営  
管理制度に基づく業務に充  
てている。今後経営に関す  
る意向調査等を行い、場合  
によっては民間事業者への委  
託等を考慮する。モリノミク  
スでは森林の多面的機能の  
持続的発揮と資源の循環利  
用の推進に取り組んでいる。  
議員 ゼロカーボンに資  
するためには健全な森林整  
備のため林道整備が欠かせ  
ないものと思う。担い手の  
育成や高性能林業機械の導  
入と併せて木材資源が効率  
的に搬出できるよう、前向  
きな検討を願う。



▲林道の倒木

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## 安心に繋がる、防災拠点等の整備

### ●「災害に強いまちひがしね」を実現

## 未来に繋がる、共生社会とドイツ交流

### ●五輪ホストタウンの検証とレガシー構築



齋藤俊一郎 議員

**防災・減災・強靱化に資する新たな市政方針は**

**議員** 市長は昨年、大雨対応の反省や教訓を活かし、次期出水期までに災害対策の体制を整えていくとのことだったが、新たな方針は。

**市長** 防災対策の強化、地域防災力向上を図ることなどを盛り込んだ、災害に強いまち推進プロジェクトを第五次総合計画にて示した。今後は、重点的かつ横断的に取り組んで行きたい。

**災害用ドローンの導入と防災公園の整備を提案**

**議員** 拡張性に優れた場所に建設される（仮称）西部防災センターを柱とする防災施設及び災害用ドローンの配備などを想定する防災資機材について、今後の整備方針は。

**市長**（仮称）西部防災センターは避難所に加え、備蓄機能を備えた水害にも対応した施設となる。「災害用ドローン」の活用は、今

後研究していきたい。

**避難情報の基準変更周知は**

**議員** 避難勧告、避難指示という2つの避難情報が避難指示へ一本化された。市民への周知状況は。

**総務部長** 出水期を前に市報に特集を組んだほか、市のホームページやLINEを活用して周知を図った。

**議員** 極めて重要な変更であり、周知の更なる徹底を要望する。また、ダム放流に関する住民への情報提供について対策を求める。



7月 静岡県熱海市で発生した土砂災害によるドローンを活用した活動（提供：総務省消防庁）

**河川の強靱化と流域治水の整備促進を求める**

**市長** 白水川堤防のかさ



上げ工事は年度末までに完成予定であり、平内川排水樋門の改修も行われる。流域治水は、市の雨水幹線整備など、国県市それぞれの立場で集中的に実施する。

**議員** 堤防かさ上げ延長と平内川河川改修に向けた県への要望活動強化、小田島地区をはじめ内水被害の抜本的調査と対策を求める。

**ドイツとの姉妹都市へ期待**

**議員** ホストタウンの総括と今後への展望は。

**市長** 取り組みで得られた絆や人材を大切に、共生社会の進化とドイツとの交流促進を目指していきたい。

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

## ●本市のデジタル変革の 推進について

(デジタルトランスフォーメーション)

～誰一人取り残さない  
人に優しいデジタル化を目指して～



高橋 弓嗣 議員

行政デジタル化の促進に  
向けた動きと今後の計画

議員 デジタル変革の推進を行う上で、具体的な動きと計画は。

市長 日本情報通信㈱と基本合意書を取交し、4月にはデジタル変革推進室を立ち上げ取り組みを進めている。今後、実施内容や工程などを整理し、計画的にデジタル変革を推進して行く。

議員 本市のマイナンバーカードの交付率と今後の普及促進は。

市民生活部長 7月末時点で31.96%となっている。交付円滑化計画を策定



▲デジタル社会においてマイナンバーカードは重要。保険証としても使えるようになります。

し、それに基づいて取り組みを進めている。

東根市LINE  
公式アカウントについて

議員 公式アカウントを開設して4カ月だが、市民サービスの反応や成果は。

市長 9月1日現在の登録者数は約9500人で、非常に高い関心が寄せられている。ワクチン接種予約については、混乱の抑制と利便性の向上が図られた。

議員 LINEには様々な機能があるが、今後の利用について伺う。

総務部長 現在のメニューはコロナ関連情報がメインだが、ワクチン接種予約での利用が落ち着いたら、効果的な運用に向け研究する。



LINE 公式アカウント

▶ワクチン接種予約の他に防災情報など、市民生活に直結する情報が迅速に発信されており。

スマホ決済サービスでの  
市税などの納付について

議員 スマホ決済サービスを使った市税等の納付現状と今後の周知は。

市長 運用を始めた4月から7月までの利用実績は、610件。また水道料金・下水道使用料は、271件である。今後もホームページ等で周知して行く。

議員 市民の利便性が向上するようであれば、小口現金の決済や児童センター等の使用料等も今後は検討をお願いしたい。

キャッシュレス決済での  
経済対策について

議員 コロナ禍での経済対策において、効果があるようだが、見解を伺う。

経済部長 推進・整備は必要であるが、消費者と事業者の双方におけるニーズを把握し、バランスを図りながら実現に繋げて行く事が求められる。

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。

## ●さくらんぼ東根駅前 放置自動車への対応は？

## ●第2次東根市地域福祉計画 課題は何か？



植松 宏 議員

放置自動車は何故  
なくならないのか

**議員** 第1回定例会で放置自動車の処理に関する条例が可決されたが、現場での放置自動車に動きは見られない。早めに手を打つべきではないか。

**市長** 条例制定後、法的根拠に基づいた撤去・処分の手続きを進めている。今年度は放置期間が長期に及ぶ2台分を、撤去勧告の手続き中。今後も適宜、撤去・処分を進めていく予定。

**議員** 放置自動車がないならない原因と、現在の台数は。

**経済部長** 現在の放置台数は11台を確認している。

放置自動車がなくならない原因としては、駅前駐車場の立地の良さや無料であることなど気軽に駐車しやすい施設であるためと捉えている。今後は注意啓発に努めていきたい。

**議員** より一層の撤去、

処分の迅速化を図っていた  
だきたい。



▲放置自動車が課題となっている  
さくらんぼ東根駅前駐車場

高齢者の進捗と  
地域福祉推進の課題は

**議員** 第2次東根市地域福祉計画策定に当たり、課題となったことは何か。また高齢化の進捗により、自助、共助が難しくなっている地域への対応は。

**市長** 地域福祉推進の課題は、多様化、複雑化する地域課題に取り組む「地域共生社会」をいかに構築す

るかであり、このため地域における自助、共助、公助の強化が必要。また、自助、共助が難しくなっている地区に対しては、市独自で民生委員に加え福祉推進員を配置するほか、公助充実を図っていく。

**議員** 今回の計画策定に当たり実施した、市民アンケート結果の特徴は。

**健康福祉部長** 人と人のつながりが希薄化していることが伺える。また、東根市が「住みやすい」と答えた方が前回調査より多かったのも特徴。

**議員** 「住みやすい」と答えた方が多くなったことは喜ばしい。



▶令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「第2次東根市地域福祉計画」

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

## ●ポストコロナを見据えた にぎわい創出の整備を!!

## ●厳しさを増す農業環境 東根市の取り組みは?



滝口 公一 議員

道の駅を含む大森山公園  
にぎわい拠点整備について

議員 「道の駅」整備の  
今後の取り組みは。

市長 市農協の本所移転  
後「よってけポポラ」周辺  
に「道の駅基本計画」の策  
定を令和4年度に実施す  
る。また、今年度、県が策  
定した「新広域道路ビジョ  
ン」において本計画が「道  
の駅配置構想」の一つに位  
置付けられたことから、従  
来の休憩・情報発信・地域  
連携の基本3機能に加え災  
害時の活動拠点や住民の避  
難場所の機能を考慮しなが  
ら「防災道の駅」事業を推  
進していく。

議員 道の駅整備に伴う  
周辺施設間のアクセスと安  
全性の確保は。

建設部長 基本計画では市  
民体育館出入口の交差点改  
良や渋滞緩和のためのアク  
セス道路の整備など、県や  
公安委員会等の関係機関と  
意見交換をしながら進めて

いく。

議員 施設間を結ぶ歩行  
者通路の工夫を期待する。



▲JA農産物直売施設「よってけポポラ」

本市の基幹産業である  
農業の振興について

議員 東根市の農家は、  
この5年間で約1割減って  
いる。農業従事者の減少と  
高齢化、耕作放棄地の増加  
にどう対処していくのか。

市長 ご指摘の件につい  
ては特に重要な課題と捉え  
ており、第5次東根市総合  
計画のプロジェクトに掲げ  
ている。新規就農・認定農  
業者等に対する支援策を積  
極的に展開し、後継者の確  
保と担い手の育成につなげ

る。また、法人化の推進、農  
地の集積・集約、規模拡大を  
後押しし、耕作放棄地の解  
消に取り組む。

議員 本市での就農希望  
者へ向けたPRの内容は。

経済部長 移住・定住部門  
と連携し、開設予定のホー  
ムページやパンフレット等  
での情報発信、首都圏等  
で行われる新農業人フェアな  
ど様々な場面においてアピ  
ールしていく。また、地域  
おこし協力隊制度が就農に  
つながる例もあることから隊  
員募集を展開していく。

議員 今後も新規就農者  
のニーズを汲んだ支援策の  
充実を要望する。



▲刈り取り作業に励む若手後継者

登壇席に飛沫防止アクリル板を設置しているため、マスクを外して発言しています。皆さんの生活に関する内容について、議員が市に質問しました。



河村 豊 議員

## ●東根市高齢者移動サービス事業 交通手段の確保と経済的負担を軽減 利用者の利便性向上と福祉の増進

要介護高齢者が利用できるサービス

**議員** 要介護高齢者が利用するリフト付タクシー等の料金の一部助成として、1枚3千円の利用券、年間24枚を申請により受け取ることができる。

対象者を「リフト付車両またはストレッチャー装着車以外での移動が困難で、要介護4または5の認定を受けた者」としているが、自力で起き上がることができず、介助をして椅子に座らせると座位は保てるが歩行は困難で、通院等のための移動は車椅子を利用する方でも、介護度が障壁となつてこのサービスを受けることができない。制度が現場の実情に合っていないのではないかと。市 長 要介護度の要件に該当しないために、同じような身体状況であっても制度を利用できない場合があり、こうした点が課題であると捉えている。

**議員** 介護保険施設等の施設入所者を対象外にしていることは、一時的に介護保険施設等の施設に入所された方が、介護保険の対象にならない通院等を家族の送迎によって行うケースは普通にある。

介護老人保健施設は、在宅復帰を目的にする施設であるが、居宅介護をされていた方が一時的にでも施設に入所された途端に対象から外れ、切り捨てられてしまふという課題がある。

市 長 施設外のかかりつけの医療機関に通院する場合等、家族が送迎を行うケースも制度の対象にしてほしいという要望がある。

改めて利用者のニーズを把握し、より実態に即した制度になるよう検討している。  
**議員** 本来使っていたきたい市民に行き届かず、使い勝手が悪く、使いたくても使えないものになってしまつていないか。量的上限が定められてい

るので利用目的を限定せず、少しでも早く要介護高齢者やご家族にとって、より使いやすい制度へと進化させることを要望する。

### 東根市高齢者移動サービス事業とは

本市に住所を有し、リフト付車両又はストレッチャー装着車以外での移動が困難であり、要介護4又は5の認定を受けた者が交付を申請できる。但し、介護保険施設等の施設入所者及び東根市障害者社会参加移動促進事業規則に基づく福祉タクシー利用券の交付を受けた者は除く。

#### 現状の利用目的

- ・医療機関への通院及び入退院
- ・介護保険サービス事業所等への通所及び入退所

申請月	交付枚数
4月から6月まで	24枚
7月から9月まで	18枚
10月から12月まで	12枚
1月から3月まで	6枚



※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

# 一般質問

## ●米の政策及び

### 今年度概算金の方向性は

## ●ゼロカーボンシティ実現に 向けた取り組みは



清野 忠利 議員

不安を抱える米生産農家への  
取り組みは

議員 コロナ禍の影響により米の需要が落ち込み、他県においては、令和3年産米概算金が令和2年産米に比べ、2割程度落ち込む旨の報道が先般なされた。米の消費が伸び悩む中、今年度は、作況指数が102と豊作だったことも一因であると思われる。一方、生産コストにおいては値下げの見通しが見えない状況である。市はJAや農家と協議し、有効な米政策を考えるべきと思うがどうか。

市長 令和3年産米については、コロナ禍の影響による需要減や、令和2年産米の過剰在庫、今後の新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが困難であることなどから、価格下落が予想される。本県においては近日中に発表される見込みであるが、同様の価格の落ち込みが懸念される。市と

してはナラシ対策や様々な制度を活用し、稲作農家を守り今後の営農継続を図ることができるよう、緊急要請を行うなどの行動を起こしているため、今後国の動向も注視していきたい。



ゼロカーボンシティ実現の  
ための具体的な取り組みは

議員 本市は県内自治体の中でもいち早くゼロカーボンシティを表明し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すこととした。また県内自治体で初めてISO14001の認証を受け、環境先進都

市として成果を挙げている。そのような中、今後、水素エネルギーを活用した施策が有効であると考える。ゼロカーボンシティ実現に向け、取り組みを計画すべきであると考えるがどうか。

市長 石炭や石油などの化石燃料の代替エネルギーとして、水素エネルギーは有効な候補である。実際に、水素ステーションの整備も全国で進められてはいるが、整備費が高額であることから、まだまだ不足している状況である。本市においても水素エネルギーの導入について適切な時期を見極め、推進を図っていきたい。



# 2件の請願審査を行いました

請願第6号 新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願  
 請願第7号 米の需給調整に関する請願

## 請願の内容

コロナ禍における米の需給と米価下落への対策を求めるもの

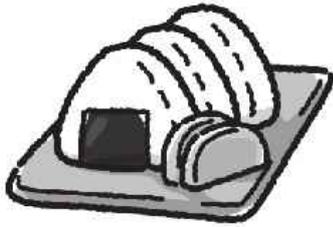
## 委員会での審査

- 米は日本の主食であり、安定した価格を実現するため対策を講じるべきである。
- 長期的な視点での新たな方策、米農家が安心して経営できるための支援が必要である。
- 飼料米への転換には、処理施設の普及や畜産農家のニーズ把握、米を保管する低温倉庫の整備が必要である。

↓ 全会一致で「採択」

## 本会議での審査

委員会での審査結果を踏まえ、**全会一致で「採択」**となり、国会や国の機関に「意見書」を提出することとなった。



### Q. 請願とは。

A. 国民が公的機関に意見や実現して欲しいことなどを文書で申し出ることです。議会では、採択か不採択かを審議し、採択した場合は、国会や関係する国の機関等に**意見書**を提出します。請願を提出する権利は、憲法で保障された**国民の権利**です。**東根市議会では、請願や陳情を市民からの政策提言と捉え、しっかりと審議しています。**

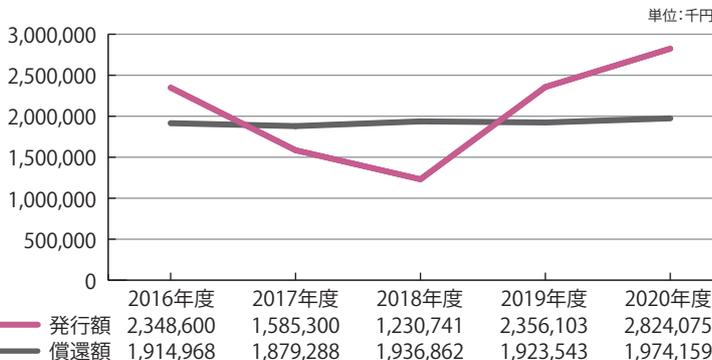
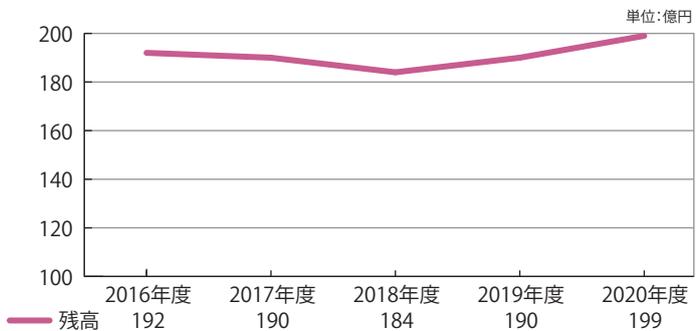
## 東根市の債務状況

### ◆市債の残高

市債(市の借金)残高は、過去5年間184億円～199億円の範囲で推移しています。

同時期の**実質公債費比率\***も6.6%～9.6%の範囲で推移し、市債を発行するために国の許可が必要となる18%からは大きく下回っています。

しかし、本市の公共施設やインフラの整備状況、国の厳しい財政状況を考慮した場合、引き続き、注視していく必要があります。



### ◆市債の発行額と元利償還額

市債の発行額は、大型事業の進捗等により波はありますが、元利償還額(元金と利子を合わせた返済額)は毎年度19億円程度で推移し、計画的に返済しています。

元利償還額の一部は、国がその財源を措置することとなっていますが、累増しており注視が必要です。

### \*実質公債費比率

市の収入に対する市債の償還額(公債費)などが占める割合を示す数値で、この数値が大きいほど柔軟な財政運営が難しくなります。

# 広域組合議会等概要報告

●北村山公立病院組合議会 (東根市、村山市、尾花沢市、大石田町)	第2回定例会 第1回臨時会	7月29日開催 8月23日開催	<b>ピックアップ</b>
●東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 (東根市、村山市、天童市、河北町)	第2回定例会 第1回臨時会	7月19日開催 8月17日開催	<b>ピックアップ</b>
●河北町ほか2市広域斎場事務組合議会 (河北町、村山市、東根市)	8月定例会	8月26日開催	<b>ピックアップ</b>
●山形県後期高齢者医療広域連合議会 (県内35市町村)	7月定例会	7月30日開催	

## ピックアップ

### 北村山公立病院組合議会 第1回臨時会

- 議長に高橋光男議員を選出した。
- 監査委員の辞職に伴い、青野隆一議員(尾花沢市)の選任に同意した。

### 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 第1回臨時会

- 議長に片桐勝寿議員を選出した。
- 法律改正に伴う条例改正や、歳出予算組替による補正予算について原案のとおり可決した。

### 河北町ほか2市広域斎場事務組合議会 8月定例会

- 令和2年度決算について、原案のとおり認定した(下表を参照)。
- 霊柩車1台を更新するため、指名競争入札による720万円の契約を締結することについて原案のとおり可決した。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、待合室に設置する空気清浄機、パーテーションの購入費用を含む補正予算を原案のとおり可決した。
- 監査委員の辞職に伴い、河村豊議員の選任に同意した。

## 令和2年度 広域組合等決算

(円)

令和2年度	北村山公立病院組合		東根市外 二市一町 共立衛生処理 組合	河北町ほか 2市広域 斎場事務組合	山形県後期高齢者 医療広域連合	
	収益的収支	資本的収支			一般会計	特別会計
歳入決算	5,328,261,273	735,280,580	2,368,351,103	70,035,106	661,164,127	156,950,252,174
歳出決算	5,507,698,166	942,455,917	2,284,334,182	63,573,360	604,704,444	149,256,563,710
負担金総額 (うち交付税額)		1,007,281,000 (346,047,000)	941,177,000 (79,143,000)	62,632,000	611,140,000	25,842,650,852
本市実質負担額 ※交付税を除いた額		327,864,500	276,482,000	29,783,000	23,835,480	972,458,080
本市実質負担 割合		49.5%	32.0%	47.5%	3.9%	3.7%



夢中になっていそいそ

東根小学校 6年

稲葉 碧さん

碧さん

兄達に憧れて、五歳から始めたそろばん。今は週五回塾に通っています。

速さが足りなかったり、間違いが多かったり、字が汚かったりして、不合格だったときはやめたくなることもありました。

けれども、色々な大会や検定の賞状やトロフィーを見て自分を励まし、「もう少し頑張ってみよう」と気持ちを切り替えることができました。また、どんなに辛い時でも陰ながら塾の先生や家族は支え、応援してくれました。そのおかげで、今年の全珠連東北大会では、優秀賞をとることができました。

これからも十段をとり、全国大会出場を目指して努力していきます。そして、塾でお世話になっている横尾先生や支えてくれている家族に喜んでもらいたいです。

令和3年第4回定例会  
日程のお知らせ  
11月30日から  
12月16日まで  
開催予定

傍聴を希望される場合は、新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒・マスクの着用にご協力をお願いいたします。

- 11月30日(火) 本会議  
予算特別委員会
- 12月6日(月) 本会議(一般質問)
- 7日(火) 本会議(一般質問)
- 9日(木) 本会議(総括質疑)  
予算特別委員会  
各常任委員会

- 12月10日(金) 各常任委員会
- 16日(木) 予算特別委員会  
本会議

※日程は、招集告示後の議会運営委員会を経て、定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

「東根市議会における新型コロナウイルス感染症対策方針」に沿った傍聴にご協力をお願いいたします。

令和3年第3回定例会では、延べ30名の皆様に議会を傍聴していただきました。

編集後記

めつきり日が短くなり、秋も深まってきました。文化祭や芋煮会など、秋季の多彩な行事やイベントの中止が相次ぎました。ワクチン接種による行動規制緩和や特効薬の開発が進み、一日も早く日常が戻ることを望みます。

第3回定例会では、一般質問や条例、決算、補正予算に対する議論や質疑が活発に行われました。

また、第1回定例会で東根市議会基本条例を制定し、チーム議会としてこれまで以上に市民の付託に答えられるよう動き始めています。

議会だよりを通して、親しみやすい議会や広報広聴に努めてまいりますので、皆様のご意見をおまちしております。

議会広報委員会

- 委員長 高橋 弓嗣
- 副委員長 植松 宏
- 委員 河村 公一
- 元木 十四男
- 山科 幸子
- 白井 健道